

旭  
春菊・パセリ  
査定会を開催

旭露地野菜部会（鈴木理之部会長）は11月14日、本格出荷の前に販売強化を図る目的で、矢指支店で春菊・パセリ査定会を開きました。生産者の他に、指定市場担当者や関係機関の担当者など55人が出席し、出荷規格などを確認しました。



現品を確認する生産者

現品査定で市場担当者は「関東近郊の産地として、お客様からの品質の評価は高い。引き続き、出荷規格を厳守し、選果・選別の徹底と異物混入に注意してほしい」と生産者に呼びかけました。今作は、台風被害の影響で生育や出荷が遅れましたが、今後は天候回復により順調な出荷となる見込みです。3月までに、シュンギク5万ケース（1ケース3kg）、パセリ600ケース（1ケース5kg）の出荷を予定しています。

納税表彰式で  
広報功績の部で受賞

11月16日、銚子市のキャルネ・ド・サントゥールで、銚子税務署・銚子税務署管内納税協力団体連絡協議会が主催する平成29年度納税表彰式が行われ、当JAが広報功績の部で受賞しました。



賞状を受け取る間瀬組合長（左）

これは、納税行政に貢献のあった個人や団体に贈られるもので、間瀬誠一組合長は「このような賞を受賞することができて嬉しく思う。これからも広報活動を通して、組合員の方や地域の皆様に役立つ情報を発信していきたい」と話しました。

旭  
開催  
冬春胡瓜査定会を

旭胡瓜部会（宇津木秀樹部会長）は11月20日、旭市のヒューマンプラザ黄鶴で、平成30年度の冬春胡瓜標準品出荷査定会を開きました。生産者、指定市場担当者、関係機関の担当者ら120人が出席し、出荷規格などを確認しました。

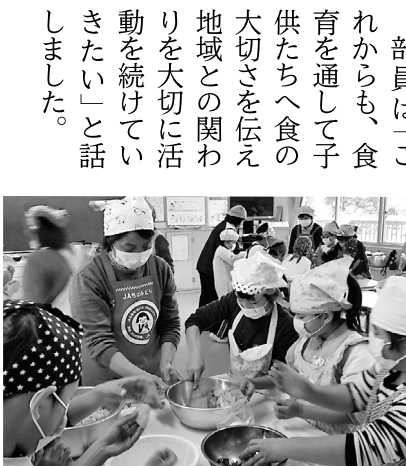


現品を確認する生産者

現品査定で市場担当者は「台風被害により、例年より1週間ほど生育が遅れが見られたが11月の天候回復により、生育は順調になってきたと聞いている。他産地より鮮度が勝る旭市産の胡瓜を有利販売するためにも予備選果の徹底など、品質管理をしっかりお願いしたい」と生産者に呼びかけました。同部会は、来年6月までに185万ケース（1ケース5kg）の出荷を予定しています。

そうさ  
日吉小学校と  
須賀小学校で食育活動

青年部そうさ支部（大木靖貴支部長）と女性部そうさ支部八日市場地区支部（角田洋子支部長）、ひかり地区支部（向後美津江支部長）の部員合わせて13人は、11月20日に日吉小学校で、24日に須賀小学校で食育活動を行い、合わせて80人の児童が参加しました。



茶巾しぼりを作る女性部員と児童

平成29年5月に青年部による食育活動で芋苗植え、11月に収穫した芋を使い、生徒は両部員のサポートのもと茶巾しぼりを作りました。また、女性部員は米粉のクリームシチューを作りました。生徒は何度もおかわりをし、「こんなに美味しい料理を食べたことがない」と喜んでいました。また小学校からも感謝の言葉をいただきました。

部員は「これからも、食育を通して子供たちへ食の大切さを伝え地域との関わりを大切に活動を続けていきたい」と話しました。